

新年度 PTA 代表から保護者の皆様へのお手紙

国立第三中学校 PTA
代表 1 年生保護者
代表 2 年生保護者
代表 3 年生保護者

01 はじめに

この度、令和 7 年度国立第三中学校 PTA の代表を務めさせて頂くことになりました。創立 50 周年を迎える節目の年に、皆様とともに子供を三中に通わせる親としてフラットな関係性のもと、一生懸命に活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

PTA を運営していくにあたり、皆様にご認識いただきたい事について以下にまとめましたので、是非ともご一読いただき、三中の PTA 活動にご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

02 PTA の位置づけについて

まず皆様にご認識いただきたい事として、国立市における PTA の位置づけがあります。国立市には市立小中学校が 11 校（小学校 8 校、中学校 3 校）あり、各校で PTA 等が活動しています。ただ、PTA と言っても、国立市は「日本 PTA 全国協議会」や「東京都 PTA 協議会」から十数年前に脱退しており、三中においても「PTA」という名称こそ使っていますが、春になるとネットニュース等で騒がれる「PTA 問題」とは全く関係がありません。上位組織にお金を納めたり、半強制的に講習会等に参加を求められる事もなく、三中に子供が在籍する保護者のみで構成される、純粋な学校の協力団体の位置づけであり、仕事でも何でもないボランティアになります。その位置付けをご理解いただき、どうか楽な気持ちでご協力頂ければと思います。

03 PTA 不要論について

では、PTA 全国協議会等に属していないのであれば無くしてしまえばよいのではないかとのご意見も出てくるかもしれませんが、国立市においては、教育委員会からの求めに応じ、よりよい給食の献立づくり、物資納入登録業者と学校宿泊行事にかかわる業者の選定などについて、保護者の参画が求められています。

また、令和 6 年度から三中も指定校となった「コミュニティ・スクール」については、文部科学省の施策の一環により「学校運営協議会」が設置され、これまでも増して地域とともにある学校として、三中の生徒のために地域の方々のご協力をいただくことになりました。いわば地域の方々が三中の子供たちの健全育成や安全・安心な学校生活を支えてくださっています。そのような中、地域に頼るだけでなく、子供を三中に通わせている当事者としても、子供の最も身近にいる存在の保護者で構成する PTA として協力していくことが大切と考えています。

04 PTA の現状と子育て環境等の変化について

三中 PTA においては、ここ数年も少しずつではありますが負担軽減を試みてきましたが、仕事と家庭を抱えて担ってくださったこれまでの委員の方々の単年度の任期では労力が過大であり、また、急速に変化する時代に追いつくことも難しい状況にありました。そのため、これまでを踏襲した運営を大きく変更する事は容易ではなく、委員定数も多い中、選出方法も止む無くクジ引きで行われており、委員になった皆様はそのような状況で担って下さっていました。

ただ、子育て環境が変化する中、共働きやシングルでの子育ては珍しくなくなり、親の介護、子の療育や看護、

兄弟姉妹の状況その他、各ご家庭でその時々様々な事情もあります。クジ引きではそのような各ご家庭の事情は考慮されず、保護者としては選択の自由が与えられていない事になってしまいます。

また、少子化により生徒数が減少する中において、委員定数についてもこれまで大きな見直しは無く、現在の活動内容の有用性や負担を精査したうえで、本当に必要とされる活動やそれに見合った適正な人数なのか等について見直す時期に差し掛かっていると思います。

このような状況を踏まえ、令和7年度においては中央委員会が先頭に立ち、各委員会の皆様や保護者の皆様にご意見をうかがいながら、今の時代に見合った「三中 PTA の在り方」について検討し、臨時総会を開催して会員の皆様に表決を頂いたうえで改善していこうと考えています。

近年の市内各校の取り組みを見ても、PTA の在り方はこれまで皆様が漠然とイメージしてきたものから大きく変わっていくこと、またそれがスタンダードになっていくことが必然の流れになりつつあります。

是非とも皆様のご理解を賜り、お力をお貸し頂きたくお願い申し上げます。

05 保護者のコミュニティとしてのこれからのPTA

三中 PTA は、三中に子どもを通わせる保護者のみで構成する唯一の集まりであり、前述のとおりシンプルに三中の教育活動に協力する応援ボランティアのようなものとして、そもそも仕事ではなく誰も苦しい思いなどする必要がないものになります。

何かと忙しい日常の中、とすると PTA を負担と感じ、あまりよくないイメージが湧いてしまうかもしれません。

ただし、令和7年度のPTA活動においては、「三中 PTA の在り方に係る検討」を行うことにより、これからの時代に見合った運営方法等への改善に努めるとともに、同じ時代、同じ地域で暮らし、三中に子どもを通わせる親同士の仲間として、保護者の皆様がお互いに助け合って協力することが出来るコミュニティとして子供たちの為に活動するのみならず、私たち子供を育てる親同士も楽しめるような PTA にしていきたいと考えています。ですから皆様におかれましてもご安心頂くとともに、PTA 活動にご協力いただけますよう改めてよろしくお願いいたします。



ご意見やご要望についてはこちらまでお寄せください。